



## うべっくる de 語り合おう!



ホーム  
Home

うべっくるについて  
ubekuru

環境学習施設  
Facilities

環境学習プログラム  
Program

環境学習資源データ  
Data

環境情報リンク  
Link

昨年度は、西村前館長の努力によって、ブログ等の投稿件数は大幅に増加し、それに伴ってアクセス数も大きく増加しました。

”うべっくる”では環境関連のイベント紹介などのほか、社会環境を含む、かなり広い環境のテーマについて、ブログ、フェイスブック、ツイッターの3つのSNS 媒体を通じた情報発信をしています。

うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

Information 銀天エコプラザ

HUさんの教育視座-2- 自分  
の...

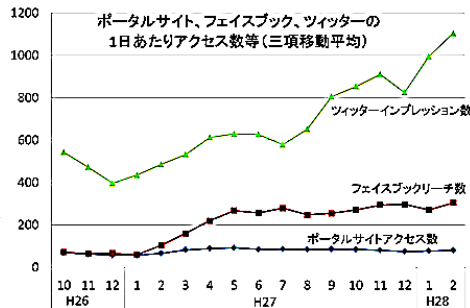
子供たちがすく  
すくと育ってほし  
いとみんなが願っ  
ている...

続きを読む

銀天エコプラザ  
facebookページ

銀天エコプラザ  
twitter

それぞれの読者層がどんな記事に関心を示されるのかは、年代の差もあり、確かに異なる傾向があるようです。



ただ、フェイスブックの”いいね”の数の他には、コメントもほとんどないために、読者にどのように伝わったのか、十分には把握できません。今後は、できるだけ双方向の議論ができるような仕組みを工夫するとともに、情報発信の質を上げていきたいと思っておりますので、皆様方からも、積極的にコメントを返していただきますようお願いいたします。(浮田)

## 今年も環境サロンはチャレンジし続けます!

まちなか環境学習館の役割として、「環境サロン」を柱とした環境啓発の重要性は変わらないと思います。関連して、3月に4度目の挑戦になる環境省への事業申請を以下のように行いました。教育委員会、校区の教育関係者、地域の方々のご理解をお願いいたします。

課題名:「こども達の生きる力を育むための地域教育力向上プロジェクト~新たな宇部方式の構築~」

目的は、「自ら学び、考え、行動する人づくりを通じて、コミュニティパワーを高め、『民』の力で、産官学の連携による新しいスタイルの「宇部方式」の構築すること」としました。

【環境サロン】身近な環境問題などをテーマに、みんなで気軽に学び合える場、語り合える場です。

すなわち、地域貢献が期待されるリタイア世代の新たな人材を発掘し、CS(コミュニティースクール)の充実や、子どもたち全体に行き届く、基本的な環境学習の機会を充実させることに、重点を置いて、そのための体制整備を進めることを目指します。具体的には以下を実施します。

- アクティビリティにおける環境学習プログラムの強化
- リサイクルプラザ等における体験学習プログラムの改善
- CSとの連携や学童保育等における出前講座の活性化
- 環境学習指導者の人材育成等 (浮田)

## 『まちなか環境学習館』に届いた嬉しいお便りのご紹介

おかげさまで第一志望の大学に合格しました。エコプラで学ぶ事ができて本当によかったです。これからたくさん恩返しをしたいと思います。ありがとうございます。(Mさん)

塾に通っていなかったのに21時まで開いているエコプラはありがたかったです。職員の皆さんが声をかけてくださったのが嬉しかったです。これからも宇部の中高生をよろしくお願いします。(Aさん)

学習室ご利用の皆さんからのお手紙に、職員一同あたたかい気持ちになりました。皆さんが、健康でご自身の夢や希望に近づけますよう心より願っています。(学習館職員)

## まちなか銀天おそうじ隊募集!

まちなかおそうじ隊は月に一度、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードや塩田川、中川などを掃除しています。メンバーはその日集まってくださった方々。楽しく「まち」を、きれいにしませんか?

5月29日(日)  
15:00~

まちなか環境学習館前集合



参加者には環境地域通貨エコハ2枚進呈! おそうじ後の茶話会で職員と会話をしませんか。

## 環境活動団体紹介コーナー

## 宇部市地球温暖化対策ネットワーク(UNCCA:アンカ)

宇部市地球温暖化対策ネットワーク (UNCCA:アンカ) は、低炭素社会の形成を目指し温室効果ガス削減に向け、産・官・学・民の相互理解と協力のもと(宇部方式)、地域における地球温暖化対策を協議、実践し、環境共生都市の実現を目的としています。現在の会員数は、団体会員 111 団体、個人会員 75 名となっています。

◆継続して行っている活動は次の通りです。

- ①各種イベントでの啓発PR活動
- ②省エネ教育推進および小中学生を対象とした地球温暖化対策環境講座
- ③環境にやさしい交通づくり推進活動
- ④カーボン・オフセット推進活動
- ⑤グリーン電力証書の購入仲介

◆昨年度の補助受託事業は次の5事業です。エコレンジャープロジェクト

- ①夏休みハイブリッドミニソーラーカー工作教室
- ②夏休みエコ学習トランク環境教室
- ③スタディツアー推進事業
- ④エコレンジャープロジェクト
- ⑤宇部地域におけるエコドライブ推進活動

◆今年度は他団体とのコラボ事業を増やしていきます。



エコレンジャープロジェクト

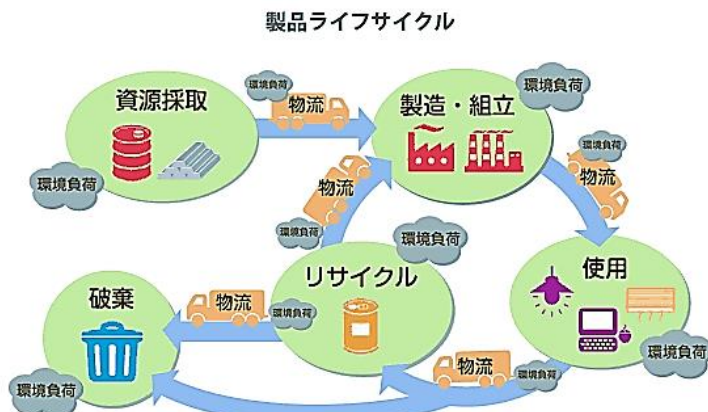
～現在会員を募集しています～  
お問い合わせ先  
TEL・FAX：050-1298-4065  
E-mail：ubeondankanet@ybb.ne.jp  
<http://ubeondanka.net/>

## 電力エネルギー 選択の自由と制約



世の中には「自由だ」と言って、何でも出来るかと言う訳ではなく、自由であることに加えて制約があることは社会生活を行っていく上で、自覚しておかなければなりません。法の制約があり、倫理の制約があり、経済や政治の制約もあります。電力自由化の動きの中で、電力にどのようなエネルギー源を用いているかを情報提供して、私たちに選択の自由が与えられようとしています。

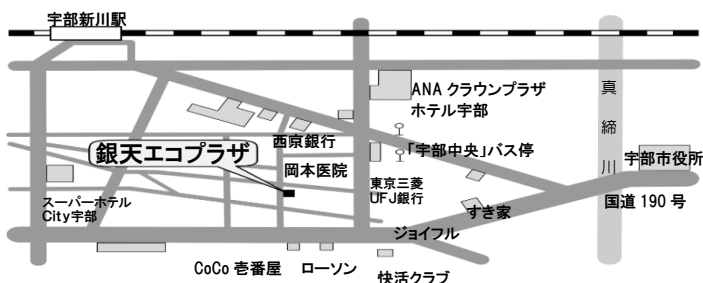
新エネルギーの開発と実用化の初期においては、技術的なブレークスルーを目指して研究開発が推進されますが、その技術が実用化されると経済的なアセスメントが行われて、経済性と政治的な判断によって社会における新エネルギーの普及政策が実行されます。私たちは太陽光発電による電力が、火力発電または原子力発電によるものより多少価格が高いものの環境に与える影響が低いだろうと評価しています。しかしながら、厳密な評価を行おうとすれば製品のライフサイクルにおいてエネルギーや材料などがどれだけ投入され、リサイクルや廃棄を含むそれぞれの過程で系外に廃棄物がどれだけ放出されたかを分析し環境への影響を評価する、



<http://www.jemai.or.jp/lca/about.html>

LCA(ライフサイクルアセスメント)を適切に行う必要があります。この評価には、それぞれのプロセスに重み付けがなされるので、すべての人が同じ評価を下すとは限りません。特に倫理的な面からの評価を反映させる場合は、重みが大きく影響して、同じ製品やエネルギーの利用に対して、全く正反対の選択をするケースが考えられます。原子力エネルギーの場合もそうですし、身近な例では家庭に設置する太陽光発電の設置も自由選択の一例です。家庭用太陽光発電システムは、客観的なLCA分析の結果、環境に対する影響評価は他のエネルギーと比較して良好であると結論されています。( [http://www.mizuho-ir.co.jp/publication/contribution/2012/oyobuturi1108\\_01.html](http://www.mizuho-ir.co.jp/publication/contribution/2012/oyobuturi1108_01.html)) それでも、すべての家庭で

太陽光発電に切り替わらないのは、初期投資の問題、電力買い取り制度の限界などが原因と考えられます。現在のわが国の買い取り制度は、電力会社の売電価格と太陽光発電からの買い取り価格の差は、電力会社のコスト削減で賄えない部分を電力消費者に負担させるシステムです。太陽光発電装置を設置する余裕のない人たちに対する不公平を、倫理的な重み付けで評価する場合は、太陽光発電を設置しない選択をする人が出ても仕方のないことです。電力自由化に当たって、私たちはどのような判断基準に立って、何に重み付けを付加するかを改めて問い直してみる必要があると思います。(薄井)



## 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9時～21時//休館日 毎週火曜日、年末年始(12/29～1/3)